

令和8年度 予算が決まりました

令和8年2月に開催された組合会において、令和8年度予算と事業計画が承認されましたので、その概要をお知らせします。

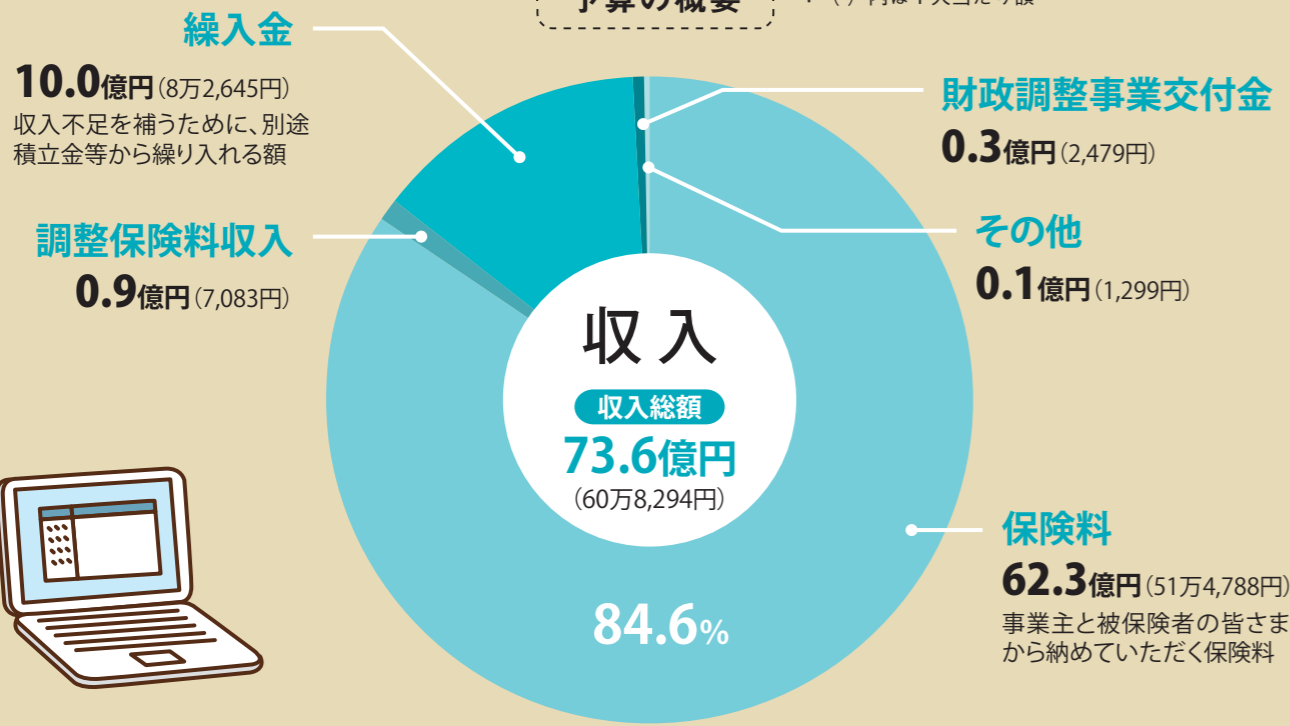
健康保険（一般勘定）

予算総額 **73億6,036万円** 保険料率 **9.6%**(据え置き)

(予算基礎数値：被保険者数 12,100人・平均標準報酬月額 372,500円)

予算の概要

* () 内は1人当たり額



収入

健保組合は、事業主と被保険者の皆さまからお預かりする保険料を主な財源として運営されています。令和8年度の保険料収入は、被保険者数や給与・賞与の見込みをもとに算出した結果、前年度比6%増の62億2,893万円となる見込みです。

支出

主な支出として、被保険者のご家族の医療費等に充てられる保険給付費は前年度比6%増の37億8,963万円、高齢者医療制度を支えるために国に納める納付金は同7%増の27億1,798万円を見込んでいます。また、皆さまの健康づくりを支援する保健事業費には3億6,251万円を計上しています。

収支状況

令和8年度は、保険給付費および納付金の大幅な増加が見込まれ、両者の合計が保険料収入を上回ることから、経常収支で8億798万円の赤字となる非常に厳しい予算編成となりました。収入不足が生じる見込みですが、財産からの繰入金10億円により収支均衡を図り、保険料率は9.6%を据え置くこととしています。

当健保組合では、皆さまの健康維持・増進と医療費の増加抑制を目的に、特定健診・特定保健指導をはじめとした各種保健事業を積極的に実施してまいります。ぜひ日々の健康管理にお役立てくださいますようお願いいたします。

介護保険（介護勘定）

財政調整事業拠出金 **0.9億円**(7,083円)

保健事業費

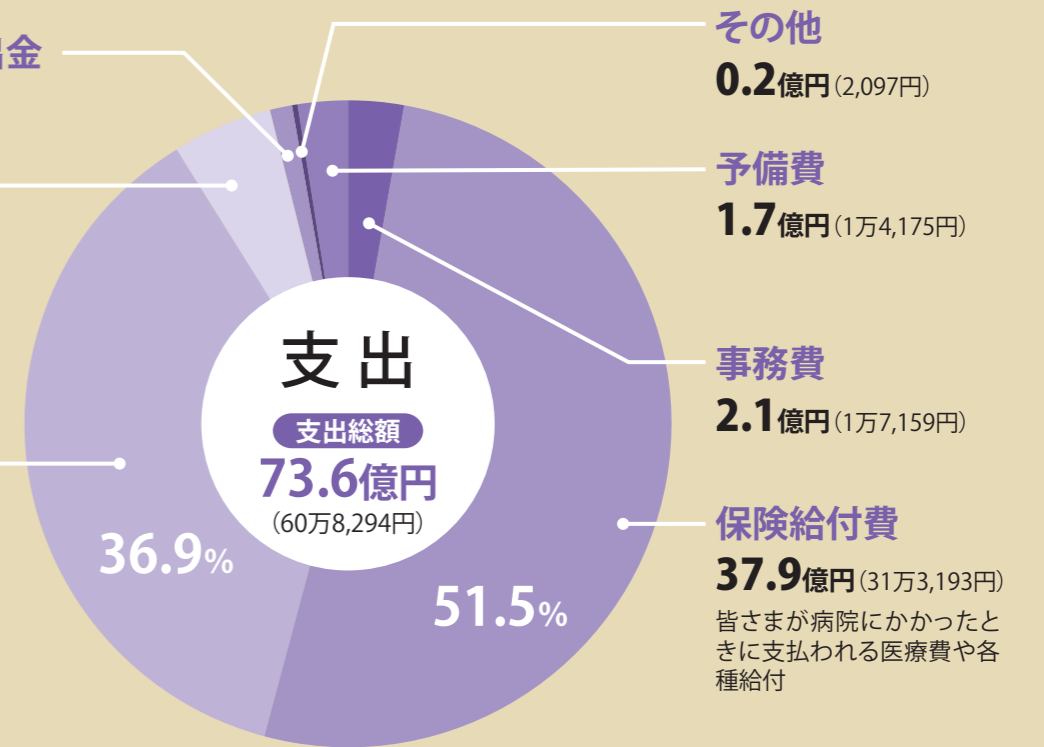
3.6億円(2万9,960円)

健診や人間ドックなどの疾病予防事業や広報活動などにあてる費用

納付金

27.2億円(22万4,627円)

高齢者医療制度を支えるために国に支払う拠出金



子ども・子育て支援金（子ども勘定）

予算総額 **7億1,631万円**

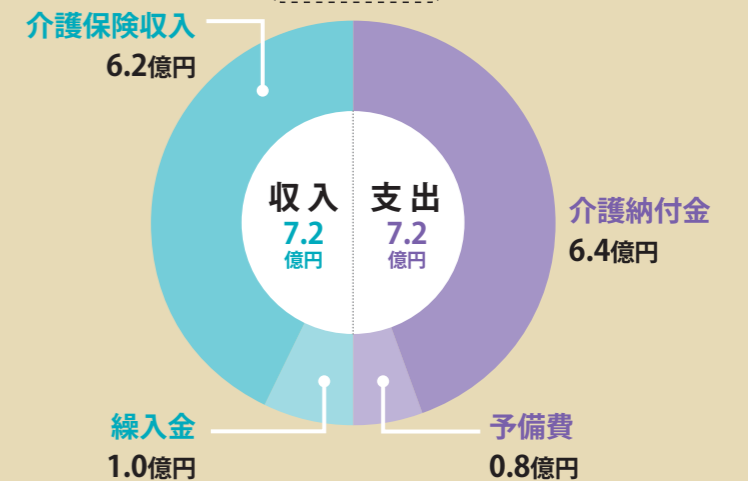
保険料率 **1.6%**(据え置き)

(予算基礎数値：介護保険第2号被保険者数 7,300人・平均標準報酬月額 424,000円)

介護保険は、高齢者の介護をサポートする制度で、市区町村によって運営されています。健保組合は、介護保険制度の財源となる介護保険料を国に代わって40～64歳の第2号被保険者を対象に徴収し、国に納めています。

令和8年度は、国から当健保組合に割り当てられる介護納付金を賄うのに必要な介護保険料率を算出した結果、介護保険料率1.6%を据え置き、不足分は準備金からの繰り入れで対応することといたしました。

予算の概要



子ども・子育て支援金（子ども勘定）

予算総額 **1億5,214万円**

支援金率 **0.23%**(新設)

令和8年度から「子ども・子育て支援金制度」が新設され、皆さまが負担する保険料は、「健康保険料」「介護保険料(40～64歳の方)」に加え、「子ども・子育て支援金」の3つになります。

子ども・子育て支援金制度は健保組合の事業ではなく、国の要請により健保組合が集めて国へ納める「代行徴収」の仕組みです。支援金率は、健保組合を含むすべての保険者に対して国が一律で定めており、令和8年度は0.23%です。

予算の概要

